

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成30年7月6日

評価者：健康福祉局指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	川崎市視覚障害者情報文化センター
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> 点字刊行物等の製作、収集、閲覧及び貸し出しに関すること 点字刊行物等の普及の促進に関すること 視覚障害者に対する相談、生活訓練その他の支援に関すること 視覚障害者の文化、学習及びレクリエーションの活動の支援に関すること 視覚障害者の福祉の増進を図る活動を行う者の指導及び育成に関すること
指定管理者	名称：社会福祉法人 日本点字図書館 代表者：理事長 田中 徹二 住所：東京都新宿区高田馬場1-23-4 電話：03-3209-0241
所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課（内線：33822）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。	<ul style="list-style-type: none"> 点字刊行物等の製作、収集、閲覧及び貸し出しに関すること 様々な図書制作、収集を行い、利用者への閲覧、貸し出しを実施した。貸し出しについて、貸出期間の制限や予約待ちの影響を受けない「ダウンロードサービス」を実施するほか、蔵書にないような個人的な資料（取扱説明書や個人の論文等）を「プライベートサービス」として利用者の希望に応じて製作し、利用者のニーズに即応してサービスを提供した。 点字刊行物等の普及の促進に関すること 録音図書の読書用機材の貸出や、各種情報機器の展示、斡旋を実施し、広く点字刊行物等の普及促進を行った。 また、晴眼者に対する視覚障害者への理解促進を図るため、市内小中学校やイベントに講師を派遣し、白杖歩行体験や講演を実施した。 視覚障害者に対する相談、生活訓練その他の支援に関すること 来所や電話、訪問等による相談に応じるほか、歩行訓練、点字訓練、各種情報機器の使用訓練等の様々な訓練を実施し、中途視覚障害者を含む視覚障害者への支援を行った。 視覚障害者の文化、学習及びレクリエーションの活動の支援に関すること 利用者同士の読書会や交流会（屋内外）を実施し、互いの親睦を深めるとともに今後の社会参加を促進した。 また、音楽イベントや音声解説付きDVD鑑賞会等のレクリエーションを多数実施し、文化的活動の支援や進興を図った。 視覚障害者の福祉の増進を図る活動を行う者の指導及び育成に関すること 点訳者、音訳者の養成講習会を実施するとともに、さらなる技術向上のためのスキルアップ研修会を開催し、ボランティアの指導及び育成を実施した。
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<p>身体障害者福祉法で規定される点字図書館としての機能（点字刊行物等の製作、収集、閲覧及び貸出）のほか、生活訓練や文化、学習、レクリエーション活動の支援等を行い、視覚障害者の自立と社会参加を促進することができた。</p>
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<p>業務を通じて取得した個人情報については、法人で整備している個人情報保護規定に基づき、適切に維持管理が行われている。</p> <p>また、毎年防災イベントを開催し、職員（視覚障害者職員を含む）、視覚障害者及び支援者を対象に、震災時の迅速な対応や視覚障害者が防災情報を取得するためのメディアの活用方法、AEDの操作指導等を行い、利用者の安全性の確保に努めている。</p>
4	更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。	<p>訓練・相談事業について、利用者のニーズが急速に高まっており、現行職員数（嘱託職員含む）での迅速なニーズの大量に苦慮しているケースがある。 （H26 訓練：61件、相談104件 ⇒ H29 訓練：600件(+539件)、相談261件(+157件)） 特に、歩行訓練に対するニーズが高まっているため、歩行訓練士の登用と育成が必要となっている。</p>

		<p>また、施設の立地（川崎区堤根）により北部の視覚障害者が利用しにくい状況がある。</p> <p>毎年、北部地域（宮前区、多摩区、麻生区）の区役所ロビー等を利用して施設機能の説明、体験会を行う「出前センター」を実施しているが、今後も北部地域の利用者への案内を強化していくための手法の検討が必要である。</p> <p>施設自体の認知度向上も必須であり、行政職員や各種支援施設を対象とした啓もう普及活動を実施し、視覚障害者からの相談に対して適切に施設を案内してもらえるようにしている。</p> <p>新たに視覚障害者となった方へ施設を利用してもらえるように、市立川崎病院へ施設のパンフレットを設置してもらう等、眼科へのアプローチも実施しているが、より視覚障害者及び支援者への認知度向上に向けた取り組みが求められる。</p>
5	非公募更新のための条件を満たしているか（該当施設のみ）	

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																												
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	3 か月ごとのモニタリングシートの提出や年度報告書等、各種報告に基づいて管理・運営の状況把握に努めた。また、電話による聞き取りや必要に応じた実地調査を行い、問題解決に向けて協議・指導を実施した。																																																												
2	制度活用による効果はあったか。	<p>視覚障害当事者を職員として雇用し、当事者の意識やニーズに即した運営を心掛けており、社会参加支援施設としての使命と役割を果たすために積極的に事業に取り組んでいる。</p> <p>利用登録者数については、指定管理制度導入前（平成 25 年度）にくらべて 1.4 倍となり、増加傾向にある。</p> <p>図書の貸出数については、点字図書が徐々に増加傾向にあるが、録音図書については、図書の形式によって増減が分かれている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">【利用登録者数】</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用登録者数</td> <td>319</td> <td>353</td> <td>382</td> <td>424</td> <td>446</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">【貸出数】</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点字図書</td> <td>244</td> <td>260</td> <td>569</td> <td>611</td> <td>577</td> </tr> <tr> <td>録音図書</td> <td>11,338</td> <td>12,280</td> <td>16,909</td> <td>15,424</td> <td>14,132</td> </tr> <tr> <td>カセットテープ 図書</td> <td>620</td> <td>31</td> <td>102</td> <td>82</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>CD 図書 (雑誌含む)</td> <td>10718</td> <td>12,249</td> <td>16,807</td> <td>15,342</td> <td>14,069</td> </tr> <tr> <td>ダウンロードサービス</td> <td>0</td> <td>248</td> <td>916</td> <td>1,056</td> <td>1,608</td> </tr> </tbody> </table>	【利用登録者数】						項目	H25	H26	H27	H28	H29	利用登録者数	319	353	382	424	446	【貸出数】						項目	H25	H26	H27	H28	H29	点字図書	244	260	569	611	577	録音図書	11,338	12,280	16,909	15,424	14,132	カセットテープ 図書	620	31	102	82	63	CD 図書 (雑誌含む)	10718	12,249	16,807	15,342	14,069	ダウンロードサービス	0	248	916	1,056	1,608
【利用登録者数】																																																														
項目	H25	H26	H27	H28	H29																																																									
利用登録者数	319	353	382	424	446																																																									
【貸出数】																																																														
項目	H25	H26	H27	H28	H29																																																									
点字図書	244	260	569	611	577																																																									
録音図書	11,338	12,280	16,909	15,424	14,132																																																									
カセットテープ 図書	620	31	102	82	63																																																									
CD 図書 (雑誌含む)	10718	12,249	16,807	15,342	14,069																																																									
ダウンロードサービス	0	248	916	1,056	1,608																																																									
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	視覚障害者情報文化センターとして、訓練、相談事業のニーズの増加に伴い、より高度かつ綿密な支援を実施するための人員確保が求められており、その課題に対応するため、職員体制や経費の見直しについて検証が必要である。																																																												
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	本施設は点字図書等の製作や訓練・相談に対する対応、視覚障害者への適切な用具斡旋等、専門性の高い業務が展開されており、安定的なサービスの提供を行うためには、視覚障害者福祉に関する専門的知見を有する団体が管理運営を行うことが望ましいと考えられる。																																																												

4. 今後の事業運営方針について

<p>平成 25 年に成立された障害者差別解消法により、不当な差別的取扱い及び合理的配慮について規定されたことにより、情報保障に対するニーズが高まっていることから、市内唯一の視覚障害者情報提供施設としてさらに体制を強化していく必要がある。</p> <p>また、高齢化に伴う障害の重度化・重複化等、障害者を取り巻く環境は急速に変化を続けており、個別のケースに即応したサービス提供が求められることから、医療機関や各種関係施設との連携を強化し、情報提供施設としての機能を広く周知を行っていくことで、市内の視覚障害者へのサービス向上に向けた仕組みの検証、構築が必要となる。</p>
--